

第39回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【女子】 準々決勝 A球場 第1試合

岸和田市立岸城中(大阪府) 3-0 太田市立藪塚本町中(群馬県)



〈岸城中 優勝を決め、マウンドで歓喜の輪ができる〉



〈藪塚本町中 力強い投球を見せた穴久保杏耶投手〉

平成29年8月20日(日)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
藪塚本町中(群馬県)	0	0	0	0	0	0	0			0
岸城中(大阪府)	0	1	0	0	1	1	X			3

【バッテリー】 〈先攻〉穴久保 杏耶・古本 緋里 — 和田 ほの香・山田 朋実

〈後攻〉馬場 千宙 — 上林 藍子

【長 打】

〈本塁打〉

〈三塁打〉上林 藍子(岸)

〈二塁打〉須田 梓(藪)

【戦 評】

2回裏、岸城中の6番原がショートのエラーで出塁すると、7番漆原がピッチャー前の内野安打で続き、チャンスを広げる。二死になるも、9番藤本がライト前へのヒットを打ち、岸城中が1点を先制する。5回裏には、8番川上がショートへの内野安打で出塁すると、続く藤本の打席ですかさず盗塁を決める。得点圏に進めたランナーを1番上林がセンター前へのタイムリーで返し、1点を追加。2点をリードした岸城中は、6回にも4番小川が相手の意表を突いたセーフティーバントで出塁すると、5番馬場の進塁打で2塁へ、さらに盗塁で3塁へ進む。チャンスの場面で、6番原がエンドランをきっちり決め、だめ押しの3点目を追加し、勝負を決めた。藪塚本町中は、得点圏にランナーを進めるも、岸城中馬場の正確なコントロールと緩急を駆使したピッチングに封じ込まれ、あと1本が出なかった。岸城中は3年ぶり2度目の優勝。3年間の思いと磨き上げられた技が光る、決勝戦にふさわしい好ゲームとなった。

【勝者インタビュー】

監督談

小技がしっかりと決まり、守備も要所でしっかり守って相手を0点に抑えることができた。大阪大会から雰囲気がよく、試合を終えるごとにチームがまとまっていた。選手、ベンチ、保護者が一体となり、この大会にのぞんだ成果が優勝という結果につながった。

主将談

攻撃面では悪いところがないというくらい、いいプレーができた。守備でも0点に抑えられたところがよかった。試合中も笑顔でゲームに臨み、保護者・選手が一丸となって最高の雰囲気を作ることができた。「岸城最強」と胸を張って言える試合にできたと思う。

感動！夢舞台！！ 絆を繋げ 九州の地で！